

平成30年度研究助成応募状況

平成30年度(第52次)研究助成は、募集を1月10日(水)に締め切ったところ41件の応募がありました。応募の内訳は右表のとおりです。

“広告・広報・メディアを中心とするマーケティングおよびコミュニケーション等”分野の研究を支援する本事業は、大学に所属する常勤研究者および博士後期課程在籍者に助成金を給付するほか、助成対象者が参加できるオムニバス形式の消費者標本調査を実施しています。提出された研究成果は審査の上、優秀な研究に「助成研究吉田秀雄賞」を授与します。

自由課題と指定課題を募集し、今年度は以下3点を指定課題としました。

- ①消費者との効果的なコミュニケーションを行う方法に関する研究
- ②広告・コミュニケーション研究やマーケティング研究の新たな方法論の開発につながる他領域における関連研究
- ③企業・組織のグローバル展開におけるコミュニケーション

ン研究

平成30年度の助成対象研究は、選考委員会の選考を経て3月の理事会において決定されます。結果の発表は、4月上旬応募者宛てに直接通知します。

応募数(前年度比)

応募総数	部門	応募数	助成期間別件数	課題別件数
41件 (+10件)	常勤研究者の部	31件 (+5件)	単年研究 17件	自由課題 7件
				指定課題 10件
			継続研究 14件	自由課題 8件
				指定課題 6件
	大学院生の部	10件 (+5件)	単年研究 7件	自由課題 6件
				指定課題 1件
			継続研究 3件	自由課題 1件
				指定課題 2件

出版助成の募集期間が変わりました

このたび出版助成の募集期間が3月と10月に変更になりました。この事業は、広告・広報・メディアを中心とするマーケティングおよびコミュニケーション分野における学術

出版を助成するものです。1件あたり100万円を上限に出版経費の一部を補助します。詳しくは、当財団ホームページをご覧ください。

編集後記

交 通博物館と科学技術館に夢中だった。大英博物館やドイツ博物館に圧倒され、フランスのラ・ヴィレットに驚き、TED会場では殴られるような刺激を受け、米国のIDEO社やエクスプロラトリウムには大感激。ワクワク体験は続く。(傾)

今 号は、リニューアルしたアドミュージアム東京を紹介する別冊を発行しました。ミュージアムでの「学び」の体験について考え、そして具体例としてのミュージアムの取り組みを知るなど、2冊併せてご活用いただければうれしく思います。(葡萄)

人 が目にする広告は1日あたり3,000件のほるともいわれます。それでも広告を見るために、大勢の方々がミュージアムに足を運んでくださいます。疎まれることのある広告ですが、人を惹きつけてやまないのも広告です。(ひろた)

AD STUDIES 2018年3月25日号 通巻63号
公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団
〒104-0061
東京都中央区銀座7-4-17 電通銀座ビル
TEL:03-3575-1384 FAX:03-5568-4528
URL:http://www.yhmf.jp

発行人 森 豊子
編集長 布施博嗣
編集部 沓掛涼香 岩本紀子
編集協力 市川嘉彦、プレジデント社
表紙デザイン 八木義博+畠山大介、中谷晴子(Creative Power Unit)
撮影 片村文人

本文デザイン 中曽根孝善 南 剛
校正 株式会社ヴェリタ
印刷・製本 大日本印刷株式会社

©公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団
掲載記事・写真の無断転載を禁じます。